

Voice Of Customer **お客さまの声****「点と点を結ぶ重要な線」、
プロセス分析サンプリング・システム・トレーニングの必要性**

千代田化工建設株式会社 制御システム設計ユニット
柴田克司さま

千代田化工建設株式会社制御システム設計ユニットにて、計装設計を担当されている柴田克司さまは、石油学会、計測自動制御学会、IPC、計装制御技術会議 企画委員、月刊「計測技術」編集委員など、さまざまな計装関連の社外委員会に参加され、業界に横串を通すような活動をされています。石油学会では、技術力向上に向けてさまざまな企画を実施するワーキング・グループのリーダーを務めておられます。同グループでは、外部のトレーニングやセミナーを積極的に取り入れており、本年度、プロセス分析サンプリング・システム・トレーニングの一部を石油学会にて開催いただきました。トレーニング受講の背景や今後の期待について、お話を伺いました。

**―石油学会とそのワーキング・グループの活動について教えてください。**

石油学会は7つの部会で構成されており、そのうちのひとつである装置部会に、計装専門委員会があります。計装専門委員会はさらに4つのワーキング・グループに分かれており、私がリーダーを務める技術力向上企画ワーキング・グループは2015年度より、主に人材育成を目的として新設され、計装技術者に対して技術力向上の機会を企画・検討しています。

教育機会やベテラン技術者の減少の中で、若手人材の育成は大きな課題となっています。ワーキング・グループでは、外部の展示会、技術セミナーやトレーニングを多方面から調査し、情報提供してきましたが、プロセス分析サンプリング・システム・トレーニングの開催はその活動の一環です。

―今回計装専門委員会でのトレーニング開催に至った経緯を教えてください。

プロセス分析サンプリング・システム・トレーニングは同業技術者や関係者から良い評判を耳にしていた、昨年参加した弊社の若手社員からも、非常に実践的で役立つものだったという感想を聞いていました。また、石油学会の別のワーキング・グループにて毎年開催しているプラント保全に関する事例交換会にて、分析計のサンプリングにトラブルを抱え悩んでいるユーザーの声が多数挙がりました。サンプリングは、プラントからプロセスを取り出し、分析計で測定できるように送り伝える、点と点を結ぶ重要な線ですが、最近はパッケージ化して発注するようになっており、詳細設計や検討時に深く携わる機会が減少しています。そのような背景から、トレーニングの必要性を感じて開催に至りました。



柴田克司さま

―トレーニングを受講した参加者からは、どのような感想が聞かれましたか？

参加者の満足度は非常に高く、多くの方に体系的に学ぶ必要性を感じてもらい、今後のプロセス分析サンプリング・システム・トレーニングの受講に関心を持っていただけました。今回は限られた時間の中で、特に需要の高いテーマである「サンプルの時間遅れ」をプログラムとしてスウェーじロックに講義いただきましたが、参加者からは、より時間をかけ、他のプログラムも盛り込んだトレーニングを引き続き受講したいという声が聞かれました。また、これまで社内で経験のない有料セミナーに事前の情報がなくまま参加することに不安を抱いており、今回のセミナー開催は、トレーニングの一部を体験し、今後通常のプロセス分析サンプリング・システム・トレーニングへの参加を検討できる貴重な機会であったという意見もいただきました。

―トレーニングのセールス・ポイントは何だと思いますか？また今後期待される点がありますか？

シニアとして参加しても、とても丁寧でわかり易い内容で、基礎を振り返って気付く点が多く大変勉強になりました。また、今回受講したトレーニングは、通常のプロセス分析サンプリング・システム・トレーニングとは講師が違いましたが、良い教材とプログラムをベースに、講義内容も伝承されており、安心して受講できました。こうしたユーザー側のニーズを捉え、トレーニングを提供することで、スウェーじロックは、部品メーカーとしてのポジションだけでなく、教育機会の提供や知見の共有というひとつ高いステージからビジネス展開を確立しつつあると思います。

個人の経験を積むことでしか技術は習得されないもので、より多くの企業にスウェーじロックのトレーニングを知っていただき、参加者が増えていくことで、業界全体として技術力向上と技術伝承が実現でき、安全・安心なプラント操業につながることを期待しています。

技術とビジネスの情報発信イベントSEMICON West

世界最大級の半導体展、SEMICON Westが7月12日から14日まで米国サンフランシスコで開催され、スウェージロックも例年通り出展し、世界の最先端トレンドや海外のお客さまの声を聞きました。今年のSEMICON Westは、メイン・テーマを「Definitely Not Business As Usual (これまでのビジネスとは確実に違う)」として、IoTなどをキーワードとしたマーケットの変化の中で、装置材料メーカーにもビジネス変革の必要性があることが強調されていました。昨年と同程度の約700社が出展した会場では、新規の出展社も多く見られ、出展社同士の情報交換が活発に行われている印象でした。会期中は技術革新をテーマとしたさまざまなテクノロジー・セミナーが開催され、大きな賑わいを見せていました。

スウェージロックのブースでは、一部販売開始済みのものも含め、幅広い流量要求に対応するシート交換可能なダイヤフラム・バルブであるDPX&DFXシリーズ、原子層レベルでの蒸着が可能なダイヤフラム・バルブであるALDシリーズなどの主力製品を出展しました。キ

ャーソンから技術のアップデートや、既存のお客さまの着目する業界トレンドを得ることができ、SEMICON Westが最新の情報収集やお客さまとの関係構築のための貴重な機会であることを改めて実感しました。



SEMICON Japan 2016の見どころ

今年で40回目の開催となるSEMICON Japanは、12月14日から16日の3日間で開催され、半導体製造の前工程から後工程まで全工程の製造技術、装置、材料をカバーする日本で唯一の大規模展として世界のバイヤーからの注目を集め、3日間延べ6万人以上の業界関係者の来場が見込まれています。1977年の初開催以来、40回連続出展する企業として、スウェージロックは今年も参加いたします。



スウェージロックのブースでは、SEMICON Westでも出展した製品を含め、日本のお客さまのニーズに合わせたラインナップをご紹介します。特に、極低温や高温などの温度管理が厳しい環境にて、薄い断熱材を採用し、優れた断熱性と柔軟性を兼ね備えたホース製品や、金属イオンの溶出やコンタミを防止するPTFE製ダイヤフラム・バルブを主力製品として展示予定です。半導体の全製造工程において、ガスや液体、温度や圧力のコントロールと、さまざまなアプリケーションに対応可能な製品とサービスにて、新たなソリューション提案をいたします。

国内の半導体市場構造が大きく変化する中、日本の強みを生かしたデバイスへの投資が見込まれます。その中でデバイス・メーカーならば装置メーカーにとっては、最先端メモリ系プロセス展開とともに、いかに既存設備のアップグレードや効率化で高付加価値を発揮するかがビジネス獲得のキーとなっています。スウェージロックは、既存装置の改造やアップグレード、またよりハイエンドな製品開発の需要に応えるべく、高性能・高品質で多彩な製品をベースとしたソリューション提案にて、お客さまのビジネスをサポートしてまいります。

円周溶接機 トレードイン(下取り) キャンペーン

現在お手持ちの旧式円周溶接機(スウェージロック社製含む、メーカー限定なし)を下取りし、スウェージロック最新モデル、M200パワー・サブライを、最大20%のディスカウント価格にてご提供いたします。キャンペーン期間は本年10月1日-12月26日の3ヵ月間限定です。お客さまの作業効率化と生産性向上にきっとお役立ていただけます。ぜひ、この機会に買い替えをご検討ください。

なお、パワー・サブライ、D100-BとM100シリーズは2017年3月をもって、保守サービスを終了いたします。詳しくは弊社ホームページでご確認ください。

M200の主な特徴

高精度な溶接

コンピューター化されたシステムにより、人為的なミスやその他の変動要因を最小限に抑えることができ、一貫した品質の溶接を安全かつ効率的に行います。

簡単な操作

溶接条件の自動生成機能にて、溶接条件の生成や実行を迅速に行うことができます。また大型の産業用タッチ・パネルにより、情報の参照が容易で、溶接条件などのデータ入力がスムーズに行えます。日本語を含む10か国語に対応しています。

容易な溶接データ管理

溶接データ保存機能により、リアルタイムで溶接データのモニタリングや記録ができ、すべての情報を正確にデータベース化し、管理することができます。

